

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	構造物のモデル化と力学教育小委員会	主 査 名：諸岡繁洋 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：高田豊文
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>過去に行われてきた力学教育を見直すとともに、構造設計者が設計の初期段階で構造安全性を確認する簡便な手法・考え方を、活躍中の構造設計者から広く集め、次代を担う学生への教育に役立てる資料を提供すること。</p> <p>初年度：過去から現状に至る大学における構造教育の調査 2 年度：検討項目の分析 3 年度：前半：検討項目の分析，後半：まとめ作業 4 年度：研究集会（シンポジウムなど）の準備・開催</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：諸岡繁洋（東海大学） 幹事：朝川 剛（東京電機大学），野村圭介（東海大学） 委員：朝山秀一（東京電機大学），片迫 幹男（中電技術コンサルタント株式会社） 佐藤 淳（佐藤淳構造設計事務所），新宮清志（日本大学）， 前 稔文（大分工業高等専門学校），山田耕司（豊田工業高等専門学校）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 構造設計に必要なと思われる教育のキーワードを抽出 2. キーワード間の関係性の精査
委員会活動の問題点・課題	1. 遠方の委員が多いことと旅費の少なさ、Skype などの活用が必要